

令和3年10月31日(日)
主催:(一般社団法人)障がい児成長支援協会
共催:(株) ストーリー
「こぼんはうすさくら川口青木教室」

特別支援が必要な子が今から 準備しなくてはいけないこと

○学習 ○生活 ○各種機関(園・学校・医療機関等)との連携

(一般社団法人)障がい児成長支援協会 協会長
岐阜大学・中部学院大学講師 山内康彦(学校心理士・ガイダンスカウンセラー)

1

子どもは環境によって“成長”が変わる

◎種は同じロシアひまわり ◎植えた時期も同じ



2

“療育の質”によっても成長が大きく変わる

◎畑は同じでも肥料の与え方によって大きく違う



3

療育の“時期”によって成長が大きく変わる

◎後から肥料を与えても・・・与える時期が重要



4

義務教育9学年(小1は4回担任経験有)
をすべて担任した私だから分かること・・・

子どもがつまずくことは決まっている
定型発達の子に比べて身につくのに時間が必要
→ならば・・・早く取り組めば良い！

- 1 まずは、家でできるようにすること
- 2 次に、園や学校でできるようにすること
- 3 外でできるようになって“本当の力”となる

※では具体的な内容を見ていきましょう。

5

まずは、“目標”を明確にもつこと
つまり『ロケットの着地地点』

がむしゃらに取り組んでも仕方がない
『効率的に力をつけていくことが必要』
→ならば・・・

※わが子の“18歳”以降はどうするのか

着地地点から逆算して、今、何を身につけさせなくてはいいかを考える！

6

『天を望みて、地を歩む』 着地地点は？

→18歳の出口を考えて今の療育を行う

なぜ、「今が大切」と今ばかり見るのか？

→毎年変わる担任、責任がもてない？

《まず18歳以降の三つの生き方を考える》

- 1 手帳を使って「障害者」として生きていく
- 2 手帳をもたずに「健常者」として生きていく
- 3 1と2の合わせ技、手帳と学歴をもつ生き方

7

それでは、中三以降どのような道に進むか

「特別支援学校高等部」進学か？

それとも「高等学校進学」か？

×現在中三卒業後社会に出る子は1000人に一人

1 特別支援学校高等部進学の場合

- 通常の支援学校高等部に進学
- 高等特別支援学校高等部進学（学力必要）

2 高等学校進学の場合

- 通常の公立・私立の高等学校（内申点必要）
- 特別な高等学校（支援学級から進学可能）
（例）通信制サポート高校や専修学校

8

それでは、中三以降どのような道に進むか

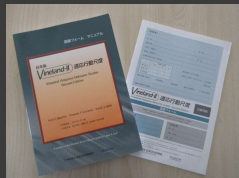
1 特別支援学校高等部進学の場合

○通常の支援学校高等部に進学するならば

『学力』より『適応能力（社会性）』重視の療育

※ヴァインランドⅡ

※S-M社会性能力検査



9

それでは、中三以降どのような道に進むか

1 特別支援学校高等部進学の場合

○高等特別支援学校高等部に進学するならば

『学力』より『適応能力（社会性）』重視の療育
ヴァインランドⅡやS-M社会性能力検査

※上記の力に加えて・・・

- ①基礎的な学力（小学校4～5年生程度）
- ②自力通学
- ③作業能力
- ④面接

※地域によって入試に差がある

10

それでは、中三以降どのような道に進むか

2 高等学校進学の場合

○通常の公立・私立の高等学校に進学するならば
入試で・・・合否のカギは・・・

5教科500点のテスト+内申点（1～5）

※内申点は、原則通常級のみでつけられる？

入試をクリアしても、入学後に・・・

- ①40人の中で支援なしでやっていけるのか
- ②出席日数はクリアできるか
- ③まとめて行う期末テストで合格できるか
- ④難しい学習内容1日6時間に耐えられるか

11

それでは、中三以降どのような道に進むか

2 高等学校進学の場合

○特別な高等学校に進学するならば

様々な特色ある入試・・・事前に調べることを

※学力試験なし面接だけでOKの学校もある

通常の高校とここが違う

- ①個別・少人数が中心
- ②出席日数は最低限（スクーリングは必要）
- ③期末テストなし？ レポート中心！
- ④74単位という少ない単位数
（通常100～105単位程度）

12

①公立高校 特別支援対応校 (定時制・単位制・インクルーシブ枠・通級)

- 定時制高校・・・◎安い ○4年制も有
(今は、“夜間”とは限らない)
- 単位制高校・・・◎安い ◎登校が少
(学校によって様々な仕組み)
- インクルーシブ枠
(通常の高校に特別枠が数名ある)
- 通級・・・小中と同様の制度が高にも
(まだまだ見切り発車のところがある)

13

②私立高校 特別支援対応校 (実質少人数で丁寧な支援・指導)

- 支援学級や内申点がなくとも受け入れOK
- 卒業後の推薦枠を多く持っている
- ※高校から中学校に事前の説明に来ている
- ※中学の先生に問い合わせれば教えてもらえる
- (例)
本当の定員は1クラス40名であるが・・・
実際は20名程度で手厚い支援が受けられる

14

③通信制高校 (たくさんの支援が必要な生徒も受け入れ可)

- 出席日数に対して理解がある
- 74単位で高卒という、少ない学習内容
- 少人数・個別中心の指導
- ※「スクーリング」には参加する必要あり
- ▲学費が通常の高校の二倍近く必要になる
- ・通信制高校行ってもいろいろなタイプがある

15

④専修学校(専門学校+通信制高校) (名古屋まで出れば多くの種類の学校がある)

- ※「専門学校」+「通信」で学習内容は多い
(その内容に興味があれば◎)
- ▲「専門学校」+「通信」で学費が少し高い
- 基本、毎日朝から夕方まで出席する必要あり
- 74単位+専門学校の学習
(注意：国家資格は受かるとは限らない)
- 基本、1クラス40人近い大人数の学習
・専門学校の内容にはいろいろなタイプがある

16

まず考える！通常の高校に進学したいなら なぜ成績がよくないといけないか？

一般の“高校入試”で必要になるため！
5教科の合計得点+内申書の点数=高校の合否
一般的に5対5の割合だが、一部進学校は6対4

しかし『特別支援学校高等部』や『特別な高校』
や『専修学校(専門学校+通信制高校)』は、提出
はあっても、入試の合否に関係ない所が多い。

つまり、一般の高校に進学しないなら、内申書
(通知表の1～5)は、実質関係ない！

17

内申書(通知表の1～5は三観点で決める)

1. テストの点数
(単元テスト+期末テスト)
2. 提出物
(日々の宿題+ノート提出)
3. 授業態度
(発言+授業の参加態度)

18

1. テストの点数 (単元テスト＋期末テスト)

- 【1】 クラスで下位1～3人
- 【2】 平均点より下
- 【3】 ほぼ平均点
- 【4】 平均点より上
- 【5】 クラスで上位1～3人

19

2. 提出物 (日々の宿題＋ノート提出)

- 【1】 提出しない
- 【2】 遅れて提出
- 【3】 期日に全て埋めて提出
- 【4】 丁寧なやり直しをして提出
- 【5】 自主学習内容を加えて提出

20

3. 授業態度 (発言＋授業の参加態度)

- 【1】 授業の妨害や邪魔をする
- 【2】 やる気なし 挙手少ない
- 【3】 普通に授業に参加
- 【4】 やる気あり 挙手多い
- 【5】 できない子を助ける

21

では、例を出します(テストはよいが…)

- 1. テストの点数 . . . 5
- 2. 提出物 1
- 3. 授業態度 1

$$(5 + 1 + 1) \div 3 = \underline{2.3}$$

つまり、ほぼ通知表は『2』

22

では、例を出します(テストは悪いが…)

- 1. テストの点数 . . . 1
- 2. 提出物 4
- 3. 授業態度 4

$$(1 + 4 + 4) \div 3 = \underline{3}$$

つまり、ほぼ通知表は『3』

23

学校は“結果”より“過程”を大切にする

つまり、学校は、
テストの点がよくなるのは、
日々の取り組みや授業態度が
よいからと考えている。
→過程（プロセス）を評価する
ことが“教育”として重要
と考えているのです。

24

今からできること 今からやるべきこと

【プロセスを褒める教育】

- ◎提出物は期日に出す。
- ◎間違えたところは丁寧にやり直して出す。
- ◎とにかく進んで手を上げる
- ◎分からないことは、先生に質問に行く。

25

①『やりなさい』ではなく『一緒にやろう』

- ×口だけの指示はダメ
- ◎よい姿を見せてまねさせる

『できることから出発』

- ◎頑張ったからできた
- ◎一生懸命やって褒められた
→成功体験の積み上げが大切

26

②宿題や提出物は親が手伝ってもよい

- ×出さない 遅れて出す
- ◎大人が手伝ってもよい

『読書感想文も同じですね』

- ☆低学年までは保護者（親）と
- ☆中高学年からは、放課後等デイや塾、家庭教師を活用する

27

③いつまでやり直しができるのか

- ▲中学校卒業後は難しい
- ◎できるなら小3より前がよい

『小3から難しくなるわけ』

- ☆学習が難しくなり、努力しないと身につかない内容になってくる。成功体験が得にくい。

28

学力については中3の後に“どこをめざすか”によって変わってくる

→ロケットの着地地点を先に決めること

- ①通常の高校に進学・・・中2～3の学力
 - ②特別な高校に進学・・・小6～中1の学力
 - ③高等支援学校に進学・・・小4～小5の学力（春日井・もちの木等）
 - ④通常の特別支援学校進学・・・学力は必要としない
- 着地地点（目標）が決まったらどこで身につけさせるか？
- 家庭内で ○放課後等デイサービスで ○塾で
 - 家庭教師で ☆継続的に関わる場所が望ましい

29

まずは、何を身につけることが重要なのか
※0歳～15歳までに身につけたい社会性
～S-M社会生活能力検査から～

- 1 身辺自立
- 2 移動
- 3 作業
- 4 意志交換
- 5 集団参加
- 6 自己統制



30

就職するために必要なことは……

大山会長（日本理化学工業）
の採用条件



- ・ 身辺自立
- ・ 自分で会社に通う
- ・ 「やろう」と言われたら
すすんでやる
- ・ 仲間にいじわるをしない
- ・ 気持ちのよいあいさつ

31

就労の違い(山内の指導経験から)

- 養護施設とは、・・・
 - 作業所、とは、（7歳の壁）
 - B型事業所とは、（9歳の壁）
 - A型事業所とは、（12歳の壁）
 - 一般就労とは、（15歳の壁）
- 法律も変更・・・障害者枠は、精神手帳も可。しかし、現実・・・
☆短大・大卒が条件になる場合も

32

家庭だけの取り組みでは限界がある

療育とは、『医療』＋『教育』
限界を超えたときは早めに**医療**

医師や専門家に『意見書』を書いてもらい、学校に提出
→学校も配慮してくれる

『合理的配慮』と言われています

33

《おまけ資料》

小学校1年生を4回担任し、義務教育9学年全てを担任した講師だからわかる内容です

資料参考

『小学校入学前・低学年までに指導すること』

学習・生活等が細かく書かれています

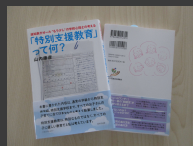
34

ほめる育て方や進路についてわかる本！

- ①「特別支援教育って何？」
- ②「特別支援が必要な子どもの進路の話」

WAVE出版

→書店・アマゾン等で購入可能！



ご清聴ありがとうございました。

35